

「障害者病棟」 を活用してみませんか？

～滝野川病院を活用して暮らしを支える提案～



患者様が自宅で過ごしている中でこのようなことはありますか？

先生方、
医療相談員 様



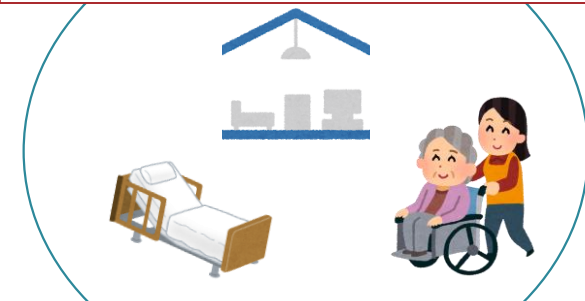
滝野川病院で
できることを
ご紹介！

以前より転んだり、つまづいたり
することが増えたみたい...



今までは自分で何とか動いていたけれど、
歩くのが不安定になってきた...

家の間取りを見直したほうが暮らしやすくなり
そうな様子がある



本人のADLの変化に合わせて介護サービスの見直しや福祉用具の変更をしたい！
ADLの評価をするにはどうしたらいいか？



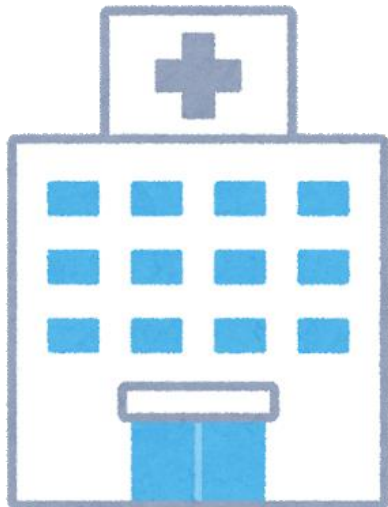
これは**神経難病の進行**によるADLの変化の可能性！

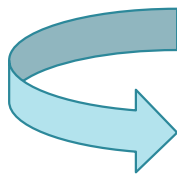


ご利用者様の既往歴に下の**神経難病の病名**がありましたら是非**滝野川病院**を思い出してください！



パーキンソン病（ヤール3以上）、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、多系統萎縮症、筋ジストロフィー、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症





障害者病棟ってどんなところ？

障害者病棟：

神経難病患者や**脊髄損傷**などの**重度肢体不自由患者**が入院し
リハビリや医療的管理を受ける病棟



神経難病は症状や進行のスピードも個人差が大きいです
病気と付き合いながら暮らしていくためにも、変化に気づいたらこれまでの生活を見直す時期かもしれません

入院することがゴールではありません。
これからもご本人が地域の中でどう生きていくのかを一緒に考えるための入院です
新しい暮らし方を相談しましょう！

入院してみることのメリット



薬での症状コントロール

入院での療養管理



リハビリ訓練



栄養管理



今の身体状況を多職種で評価することができます！



介護保険の区分変更も検討
サービスの見直しと変更

ご家族様や在宅チームで今後
についてじっくり相談をする
時間の確保



ご家族様のレスパイトの役割



ケース①在宅生活を整える

80代女性（要介護2）パーキンソン病



独居生活で介護サービスを利用しながら生活してきたが、歩行能力の低下がみられ尻餅転倒でさらに生活動作が困難となり、当院へ入院

⇒（2ヶ月間の入院の様子）

- ・入院中に本人、家族、ケアマネージャーと相談し区分変更申請
自宅退院時のサービスの内容を変更しサービス量も確保
- ・個別リハビリを平日毎日実施
（PT・OTそれぞれ約1時間程度）

本人の身体機能を評価し体幹バランス能力を整え、座位や歩行を安定することを目標に取り組んだ

⇒（在宅復帰後）

ご本人様から

「また家に戻る不安もあったけれど、また家で暮らせて良かった。病院でのリハビリは初めてだったけれど、もっと早くやってみれば良かった」と言葉を頂きました！



滝野川病院リハビリ室

リハビリは一人ひとりの身体状況やこれからの暮らし方によって内容が異なります
また目指せるゴールも同様です

リハビリすることが目的ではなく、リハビリで得た体の機能をどのように活用して生きるかが大切なのです

そのためにも在宅生活を支えているケアマネージャーを初めとする在宅チームの方々との協力が必須と考えています

ケース②もう1度自宅で暮らしたい！

80代女性（要介護3）パーキンソン病



要支援の状態でも独居生活を頑張っていたが転倒を繰り返し、急性期の病院へ入院。ほぼ寝たきりの状態となり在宅復帰が困難に
本人のリハビリをしたいという希望から、当院へ転院

⇒（約半年間の入院の様子）

- ・転院当初は全く歩行できなかったが、長期に渡るリハビリの結果、シルバーカーを使用した歩行が可能に
- ・転倒時の区分変更で要介護4だったが、入院後半には要介護3へ
- ・本人も気持ちが上向きになり自宅退院希望
（外出や外泊を経て家族とも自宅退院方向となる）

★在宅の先生、ケアマネージャーも含めて打ち合わせし、家屋評価実施し介護サービス再調整後に自宅退院

⇒（在宅復帰後）

ご本人様から

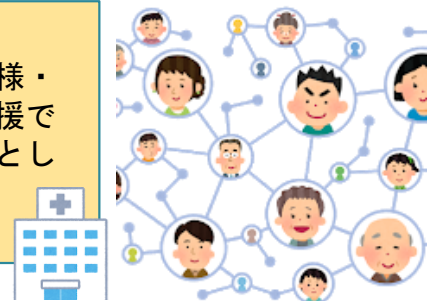
「また暮らせるようになるとは思ってなかった、嬉しい」

ご家族様から

「家に戻った後も相談できる病院があるのは心強いです」



入院前、入院中、退院までの期間も患者様・ご利用者様の生活が途切れることなく支援できるよう地域という大きなチームの一員として当院も尽力してまいります！



申し込みの流れ

① まずはお電話等でご相談ください。
※お手元に診療情報提供書、ADL表、保険情報がありますとスムーズです

② 当院が依頼したい書類がある場合は
FAXで送付いただくことがあります

③ 当院からご家族様へご連絡させていただき、ご来院面談もしくは電話にて面談を依頼しております

※状況に応じて当院で判断させていただきます

④ 総合的な入院可否の判定
多職種にてお受け入れが可能かどうか判断させていただきます

※病状等によってはお受け入れできない場合もございます

入院決定後の流れ

① ご家族様と当院MSWより入院日の調整をさせていただきます

※ご自宅や介護施設からの入院は外来受診後に入院となります
来院当日は外来受診から入院手続き完了までご家族様のお付き添いが必要となります

② 外来受診し入院

※入院前から患者様、ご家族様、在宅介護チームの事業所の担当者様と退院後の方向性について相談させていただき、退院に向けて協働してまいります

それぞれのケースに応じて個別に対応させていただきます
お気軽にご相談ください

退院に向けて

① 入院中の情報共有を実施します
※入院中のご様子やリハビリの経過、患者様、ご家族様のお気持ちなど共有し、今後の方向性を支援していきます

<ケースに応じて>

- ・多職種でのカンファレンス
- ・リハビリや食事の様子など見学
- ・家屋評価の実施

その他、様々な形で連携を取らせていただいております

② 退院日の決定、退院

※患者様の状況、在宅サービスの調整、ご家族様のご都合等を踏まえて退院日の調整をさせていただきます

まずは 滝野川病院 医療相談室へご相談ください！

滝野川病院

電話番号：03-3910-6336

FAX直通：03-5394-5558

【受付時間】

月曜～金曜	9:00～16:00
土曜	9:00～11:30
日・祝	休み

病院基本情報

- 一般床障害者病棟 59床（3階病棟）
- 外来診療科
（内科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション科）

